令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | １　オリエンテーション　研修受講ガイダンス | 受講日 |  |
| 講師 | 吉岡かよ氏（相談支援事業所スマハピ） | | |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。

　［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

　　　　　　 　　②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ①相談支援専門員の役割・ミッションについて説明できる。 |  |  |  |
| ②相談支援専門員に必要とされる力について説明できる。 |  |  |  |
| ③なぜ学びとその継続が必要か、具体的にどのような学び方法があるかについて説明できる。 |  |  |  |
| ④相談支援専門員の人材育成体系について説明できる。 |  |  |  |
| ⑤継続的な学びの必要性について説明できる。 |  |  |  |
| ⑥本研修の獲得目標について説明できる。 |  |  |  |
| ⑦本研修の構造について説明できる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義１－１】（テキストページ　20～３２頁）  相談支援（障害児支援）の目的 | 受講日 |  |
| 講師 | 小澤　温氏（E-ラーニング）  秋山　潤氏（相談室　ちゅうじょ） | | |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

②今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

**〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ①相談支援専門員のミッション①は障害者の地域生活の実現（継続）であることについて説明できる。 |  |  |  |
| ②相談支援専門員のミッション②は障害者の自立と尊厳の確保、社会参加であることについて説明できる。 |  |  |  |
| ③相談支援専門員のミッション③は障害者の自己決定（意思決定）やリカバリーへの支援であり、そのためにはエンパワメントやストレングスの視点が必要であることが説明できる。 |  |  |  |
| ④相談支援専門員のミッション④は障害のある人も含めた誰もが暮らすことのできる地域づくりであることについて説明できる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義１－２】（テキストページ　３３～５７頁）  相談支援の基本的視点（障害児者支援の基本的視点） | 受講日 |  |
| 講師 | 熊谷晋一郎氏（E-ラーニング）  藤本秀明氏（道志村社会福祉協議会） | | |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

②今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

**〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ①障害について正確に説明できる。  　（医学モデルと社会モデル） |  |  |  |
| ②スティグマについて説明できる。 |  |  |  |
| ③個別性の重視、リカバリーついて説明できる。 |  |  |  |
| ④生活者視点、QOLの重視について説明できる。 |  |  |  |
| ⑤本人主体、本人中心の支援について説明できる。 |  |  |  |
| ⑥自己決定（意思決定）の支援について説明できる。 |  |  |  |
| ⑦エンパワメント支援、ストレングスを活かした支援について説明できる。 |  |  |  |
| ⑥権利擁護について説明できる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義１－３】（テキストページ　５８～７８頁）  相談支援に必要な技術 | 受講日 |  |
| 講師 | 島村　聡氏（E-ラーニング）  秋山　潤氏（相談室　ちゅうじょ） | | |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

②今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

**〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 1. 障害児者の相談援助に求められるソーシャルワークの理論について説明できる。 |  |  |  |
| ②ケアマネジメントの目的・基本的構造・プロセスについて説明できる。 |  |  |  |
| ③相談面接技術と記録とその重要性について説明できる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義２－１】【講義２－２】テキストページ８０～１０８頁）  相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス | 受講日 |  |
| 講師 | 岡西博一氏（E-ラーニング）/飯室正明氏（中北圏域マネージャー）  小島一郎氏（E-ラーニング）/小倉まなみ氏（相談支援事業所クローバー） | | |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

②今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

**〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ①ケアマネジメントの展開およびサービス等利用計画作成について、流れと留意点を説明できる。 |  |  |  |
| ③多職種連携及びチームアプローチとその必要性・効果について説明できる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

　令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義２－２】（テキストページ　１０９～１２５頁）  相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点 | 受講日 |  |
| 講師 | 相馬大祐（E-ラーニング）  吉岡かよ（相談支援事業所スマハピ） | | |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

②今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

**〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ➀障害のある本人の意思と家族の思いや要望に違いがある場合、相談を受けた支援者としてどういった役割を果たしていけばいいのか説明できる。 |  |  |  |
| ②最新の地域資源に関する情報を幅広く得るために、日頃からどういった活動を行っていくことが大切なのかを具体的に説明できる。 |  |  |  |
| ③「地域課題」がどのように見いだされるのかを説明できる。 |  |  |  |
| ④（自立支援）協議会の目的にについて、「社会資源の開発」という言葉を使って説明できる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義３－２】（テキストページ　１８５～２０８頁）  障害者総合支援法及び児童福祉法における相談支  援（サービス提供）の基本 | 受講日 |  |
| 講師 | 藤川雄一氏（E-ラーニング）  藤本秀明氏（道志村社会福祉協議会） | | |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

②今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

**〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| ①相談支援事業の成り立ち（経緯）相談支援事業の体系について理解する。 |  |  |  |
| ②相談支援専門員の役割について理解する。 |  |  |  |
| ③利用者の権利擁護や虐待防止を図るうえで相談支援専門員が果たす役割を理解する。 |  |  |  |
| ④障害福祉サービス等仕組みにおける相談支援（運営に関する基準やモニタリング等）について理解する。 |  |  |  |
| ⑤相談支援専門員とサービス管理責任者等の役割について理解する。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 演習Ⅰ　ケアマネジメントプロセスに関する講義及び演習  相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術Ⅰ（初期相談からアセスメントまで） | 受講日 |  |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。

　［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

　　　　　　　 　②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 1. 相談支援の目的に即したケアマネジメント毎の実践ができる。 |  |  |  |
| 1. 相談支援（ケアマネジメント）の基本的な視点にたち、ケアマネジメント毎の実践ができる。 |  |  |  |
| ③ケアマネジメントプロセス毎の留意点を踏まえた関係性の構築に関する実践ができる。 |  |  |  |
| ④ケアマネジメントプロセス毎の留意点を踏まえたアセスメントに関する実践ができる。 |  |  |  |
| ⑤グループ討議に主体的・積極的に参加できる。 |  |  |  |
| ⑥チームでの支援の重要性と効果を理解し、グループ討議の基本的技術に基づいた実践ができる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 演習Ⅰケアマネジメントプロセスに関する講義と演習  相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術Ⅱ（プランニング以降） | 受講日 |  |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。

　［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

　　　　　　 　②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 評価 | | 気づき等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 1. 相談支援従事者の役割・ミッションに基づいたケアマネジメントプロセス毎の実践ができる。 |  |  |  |
| ②ケアマネジメントの基本的な視点にたち、プロセス毎の実践ができる。 |  |  |  |
| ③ケアマネジメントプロセス毎に重要な点を踏まえた実践ができる。 |  |  |  |
| ④地域への視点を持ったケアマネジメントの展開ができる。 |  |  |  |
| ⑤主体的かつ積極的にグループ討議に参加することができる。 |  |  |  |
| ⑥チームでの支援の重要性と効果を理解し、グループ討議の基礎的技術に基づいた実践ができる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 演習２－１（実践研究１）  事例の共有と相互評価１ | 受講日 |  |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。

　［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

　　　　　　 　②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 1. 相談支援従事者の役割・ミッションに基づいたケアマネジメントプロセス毎の実践が実施できる。 |  |  |  |
| 1. ケアマネジメントの基本的な視点にたち、プロセス毎の実践が実施できる。 |  |  |  |
| 1. ケアマネジメントプロセス毎に重要な点を踏まえた実践が実施できる。 |  |  |  |
| ④主体的かつ積極的にグループ討議に参加することができる。  チームでの支援の重要性と効果を理解し、グループ討議の基礎的技術に基づいた実践ができる。 |  |  |  |
|  |  |  |
| ⑤スーパービジョンの意義と継続の必要性、実際を理解することができる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 演習２－２（実践研究１）  事例の共有と相互評価Ⅱ | 受講日 |  |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。

　［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

　　　　　　 　②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 1. 相談支援従事者の役割・ミッションに基づいたケアマネジメントプロセス毎の実践が実施できる。 |  |  |  |
| 1. ケアマネジメントの基本的な視点にたち、プロセス毎の実践が実施できる。 |  |  |  |
| 1. ケアマネジメントプロセス毎に重要な点を踏まえた実践が実施できる。 |  |  |  |
| ④主体的かつ積極的にグループ討議に参加することができる。  チームでの支援の重要性と効果を理解し、グループ討議の基礎的技術に基づいた実践ができる。 |  |  |  |
|  |  |  |
| ⑤自らの実践を他者にわかりやすく端的に説明することができる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 演習３－１（実践研究３）  事例研究とサービス等利用計画作成 | 受講日 |  |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。

　［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

　　　　　　 　②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 1. 相談支援従事者の役割・ミッションに基づいたケアマネジメントプロセス毎の実践ができる。 |  |  |  |
| 1. ケアマネジメントの基本的な視点にたち、プロセス毎の実践ができる。 |  |  |  |
| ③ケアマネジメントプロセス毎に重要な点を踏まえた実践ができる。 |  |  |  |
| ④-1主体的かつ積極的にグループ討議に参加することができる。 |  |  |  |
| ④-2 チームでの支援の重要性と効果を理解し、グループ討議の基礎的技術に基づいた実践ができる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 演習３－２（実践研究３）  事例研究とサービス等利用計画作成 | 受講日 |  |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。

　［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

　　　　　　 　②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 1. 相談支援従事者の役割・ミッションに基づいたケアマネジメントプロセス毎の実践ができる。 |  |  |  |
| 1. ケアマネジメントの基本的な視点にたち、プロセス毎の実践ができる。 |  |  |  |
| ③ケアマネジメントプロセス毎に重要な点を踏まえた実践ができる。 |  |  |  |
| ④地域への視点をもったケアマネジメントの展開ができる。 |  |  |  |
| ⑤-1主体的かつ積極的にグループ討議に参加することができる。 |  |  |  |
| ⑤-2 チームでの支援の重要性と効果を理解し、グループ討議の基礎的技術に基づいた実践ができる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

令和７年度山梨県相談支援従事者初任者研修

初任者研修　振り返り・評価シート（科目別）　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 演習４　研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り | 受講日 |  |

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。

　［事前評価］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　［事後評価］①受講後の学習効果を確認する（身についた、自己評価と相違があった等）。

　　　　　　 　②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

〇以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 1. 相談支援従事者の役割・ミッションに基づいたケアマネジメントプロセス毎の実践ができる。 |  |  |  |
| 1. ケアマネジメントの基本的な視点にたち、プロセス毎の実践ができる。 |  |  |  |
| ③ケアマネジメントプロセス毎に重要な点を踏まえた実践ができる。 |  |  |  |
| ④地域への視点を持ったケアマネジメントの展開ができる。 |  |  |  |
| ⑤主体的かつ積極的にグループ討議に参加することができる。 |  |  |  |

10　　　　　９　　　　　８　　　　　７　　　　　６　　　　　５　　　　　４　　　　　３　　　　　２　　　　　１

←　理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→